

令和 8 年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 8 年 8 月 20 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名

岡山パラ・パワーリフティングクラブ

氏 名 岡本 孝義

令和 8 年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	「筋肉で岡山を持ちあげる！」～パラスポーツ×ものづくり×学校教育で拓くインクルーシブなまちづくり～
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを 300 字（句読点含む）以内に記載してください。	パラ・パワーリフティングを軸に、学校・行政・企業・地域が一体となり「誰もが体を動かし挑戦できる共生社会」を目指す取組です。岡山工業高校の生徒が授業で競技専用ベンチプレス台を設計・製作する「ものづくり連携」をはじめ、岡山大学附属特別支援学校や誕生寺支援学校、岡山市内での小・中学校での体験交流授業を実施。さらに 9 年連続誘致の日本代表強化合宿や、健常者とパラ選手が同じルールで競い合う「岡山オープン」を開催。「する・みる・ささえる・つくる」の多様な協働を通じ、地域の活力向上とバリアフリーな人づくりを推進しています。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	①工業高校とのものづくり協働：高校生がパラ・パワーリフティングの専用器具を製作し、ものづくりを通して相手を思いやる「心のバリアフリー教育」と実践的キャリア教育、用具の地域内調達を両立。製作物の継続的な活用。 ②学校間・地域交流の深化：特別支援学校や小中学校での体験会を通じ、児童生徒が障がいを前向きに捉え相互理解を深めるインクルーシブ教育を推進。 ③全国合宿・岡山オープンの定着：全国のトップ選手や市民・学生ボランティアが集い、地域活性化と多機関連携による持続的なスポーツ環境を創出。 ④継続的な強化活動：拠点である岡山商科大学に岡山県内だけでなく中四国・九州からも選手が練習に訪れている。中四国地方における競技拠点として機能している。一緒に練習をしている岡山商科大学ウェイトトレーニングクラブの強化も進み、国際大会出場選手を複数名輩出するまでに競技力が向上した。

●次の書類等を添付してください。

①〔様式 1〕協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式 2〕取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1 枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）1 枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A 4で2ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	「筋肉で岡山を持ちあげる！」～パラスポーツ×ものづくり×学校教育で拓くインクルーシブなまちづくり～
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 本取組は、パラ・パワーリフティングを核に「障がいの有無にかかわらず誰もが一緒にスポーツを楽しめる場づくり（岡山オープン）」「工業高校の専門技術（ものづくり）を活かした地域貢献活動と継続的な製作物の活用」「特別支援学校や小中学校での共生理解教育」「大学施設（岡山商科大学）を活用した拠点形成」を一体的に展開しており、本年度の募集テーマ「スポーツで広がる協働のまちづくり」に合致しています。
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 【社会課題の現状】 健全者向けのフィットネス施設は増加している一方、障がい者が日常的に身体を動かせる施設や機会、専用器具が極めて不足している現状があります。また、学校現場における実践的なインクルーシブ教育の機会不足も課題です。 【目的・目標】 「筋肉を合言葉に様々な人と繋がる」をテーマとして、競技の普及・選手強化にとどまらず、「つくる（工業高校の器具製作）」「まなぶ（学校交流）」「ささえる（合宿・大会運営）」といった多様な関わりを創出。障がいのある人が孤立せず、誰もが運動習慣や生きがいを持てる持続可能な地域共生社会（SDGs 目標 10・11）の実現を目指します。
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など ・対象地域：岡山市内全域および周辺地域 ・対象者：小・中・特別支援学校の児童生徒・教職員、パラアスリート、健全者競技者、学生・市民ボランティア、地域住民 ・対象人数：延べ 2,000 名以上（過去の合宿・学校交流・大会等の累計） 2 活動内容、実施方法など ①岡山工業高校とのものづくり協働授業：生徒が 3 年生の課題研究等で「パラ・パワーリフティング専用ベンチプレス台」を設計・製作。選手の使用感を取り入れながら改良を重ね、「使う人の立場に立ったものづくり」と障がい理解を深める授業を展開。（2018 年、2019 年事業）製作されたパラベンチ台は、日本代表合宿や岡山オープン大会、日常的に練習会で継続的に使用している。 ②学校訪問・出前交流授業：岡山大学附属特別支援学校、誕生寺支援学校、岡山東支援学校、岡山西支援学校、岡山大学附属小学校、平井小学校、操山中学校、福浜中学校等で体験会を実施。本物のパラ競技体験、選手との触れ合い、パラリンピックトーチ展示等を通じて多様性を体感。また、上南中学校区の教職員向けの人権研修会も実施。 ③日本代表強化合宿の継続誘致（9 年連続）：全国のトップ選手を受け入れ、合同練習会や市民との公開交流を実施。この合宿参加者から、東京パラや愛知アジアパラ参加者も輩出。 ④「岡山オープン」の開催：健全者も足をベンチ上に伸ばすパラルールで参加し、相互理解と真剣勝負を共有するインクルーシブ大会を開催。 3 工夫した点や取組の特徴

	・「する人」だけでなく「ものづくりで支える高校生」や「大会を支えるボランティア」など、多様な参画の間口を設けた点。 ・普通校と特別支援学校の双方を巻き込み、双方向の共生理解を深めた点。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。	
取組の実施期間	始期：2018年4月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに☑し必要事項を記入してください。
今後の活動展開など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 これまで築いた学校・大学・行政・地域団体との協働をさらに広げ、岡山を『障がいの有無にかかわらず、スポーツを通じて誰もが自然につながるまち』として発信していく。岡山オープンをさらに拡大し、多種目（ボッチャや卓球等）と連動した「インクルーシブスポーツの祭典」へと発展させていく。日本代表合宿も引き続き受け入れていき、強化や普及を図っていく。	

協働による効果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 ・特殊器具の地域内開発とコスト課題の解決：高価で入手が困難な競技用ベンチ台を、工業高校の高度な技術力により安全・高品質に製作・調達できた。 ・教育現場での深い学びと意識変革：「障がい者＝支援される側」という固定観念を排し、高校生は「誰かの挑戦を支えるものづくり」を、児童生徒は「パラスポーツの凄さ・楽しさ」を主体的に学んだ。 ・単独では実現できない持続的な協働ネットワークの確立：大学は活動拠点、高校はものづくり、小中・特別支援学校は教育・交流、行政・地域団体は大会や合宿等を支援。それぞれの強みを持ち寄ることで、パラスポーツを『する・みる・ささえる・つくる・まなぶ』多様な関わりが生まれ、単発のイベントではない継続的な地域連携の仕組みが構築された。 多様な機関との協働による競技力向上と普及：岡山商科大学ウェイトトレーニング部の学生とパラ・パワーリフティング選手が日常的に共に練習することで、双方の競技
---------	---

	力向上につながった。大学から国際大会出場選手も輩出され、日常的なスポーツ活動を通じて、自然な形で障がいの有無を越えた交流が生まれている。	
協働団体とその役割 ※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。 ※足りない場合は欄を追加してください。	団 体 名	岡山県立岡山工業高等学校
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	パラ・パワーリフティング専用ベンチプレス台の設計・製作・改良、授業を通じた選手との技術・共生理解交流
	団 体 名	岡山大学附属特別支援学校 / 岡山県立誕生寺支援学校、西支援学校、岡山東支援学校。
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	出前授業・パラスポーツ体験会の受入、児童生徒とトップアスリートとの交流を通じた共生教育の実践
	団 体 名	岡山大学附属小学校（および岡山市内小・中学校）
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	パラスポーツ体験・講演会の受入、児童の多様性理解とスポーツ習慣の醸成
	団 体 名	岡山商科大学
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	ウェイトトレーニング場・体育館等の活動拠点提供、学生ボランティア・部活動との連携協力。ウェイトトレーニング部の競技力強化(この強化により国際大会に二名の学生が出場)。
	団 体 名	岡山市スポーツ振興課
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	合宿誘致および大会開催の支援、公共施設等の利用調整、広報・地域連携の促進
	団 体 名	おかやまスポーツプロモーション機構、岡山観光コンベンション協会
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	日本代表合宿での歓迎式典への参加、合宿中の観光エクスカーションの提供。
団 体 名	岡山南ロータリークラブ	
団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割	日本代表合宿に向けて器具の提供。岡山南ロータリークラブ例会での後援を通して、パラスポーツの魅力について講演をした。	
団 体 名		
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割		
団 体 名		
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割		
団 体 名		